

上尾中央総合病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記のお問合せ先にご連絡下さい。

課題名	橈骨遠位端骨折掌側ロッキングプレート術後症例の生活満足度に関する因子検討
受付番号	1085
当院の研究責任者（所属）	梶塚裕貴（リハビリテーション技術科）
研究者等（所属）	吉野晃平、秋山加奈子、中澤竜太（リハビリテーション技術科）
研究期間	2023年1月28日～2024年3月31日
調査データ対象期間	2021年4月1日～2022年12月31日
本研究の目的	橈骨遠位端骨折に対して掌側ロッキングプレート術を施行した症例に対し各関節可動域や握力、患者立脚型評価方法である Hand20 を測定している。術後早期では関節可動域の減少によって日常生活動作（ADL）や手段的日常生活動作（IADL）に制限が生じるが、術後 12 週経過すると関節角度よりも握力低下に対する訴えが多い傾向にある。Hand20 の項目の中でも満足度が低い上位 3 つは「力仕事を精一杯できる」、「頭上の棚に両手で重い鞆を載せる(5 kg)」、「円形のドアノブを回し、重い扉を開ける」等の力を必要とする項目が挙げられた。本研究では Hand20 項目毎の点数と握力を含む各評価との関係性を調査し、患者満足度を低下させる因子を明らかにする。
対象となる患者さん	調査データ対象期間に橈骨遠位端骨折の診断を受け、掌側ロッキングプレート術を施行した患者さん
利用する試料・情報	年齢、性別、手術後から 12 週までの各評価項目（関節可動域、握力、指尖手掌間距離、8 の字周径値、Hand20 点数）
試料・情報の他の研究機関への提供の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 有り（ ）
個人情報の保護に関する情報	利用する情報から氏名や住所等の患者さんの特定につながる個人情報は削除します。研究成果は学会や学術誌等で発表する可能性がありますが、その際は患者さんを特定できない形で行います。
本研究の資金源（利益相反）	<input checked="" type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 有り（ ）
倫理審査等の経過	第 255 回上尾中央総合病院倫理委員会にて承認
公開日	2023年2月3日
オプトアウト期間	<input checked="" type="checkbox"/> 公開日から 1 か月 <input type="checkbox"/> 当該疾患の当院受診日から 1 か月
お問合せ先	電話番号 048-773-1111（代表） 上尾中央総合病院 クリニカルリサーチセンター 情報管理部・組織管理課 又は 薬剤部・治験管理科